

受験番号

氏名

生年月日 昭・平

模擬テスト・答案用紙
2 級

商業簿記

採点欄

一問

(制限時間 全問で2時間)

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号

氏名

生年月日 昭・平

模擬テスト・答案用紙 2 級

商業簿記

採点欄	
二問	

(制限時間 全問で2時間)

第2問 (20点)

残高試算表

(単位：円)

4月30日現在	4月1日現在	勘定科目	4月1日現在	4月30日現在
	6,600	小口現金		
	85,000	当座預金		
	150,000	受取手形		
	174,000	売掛金		
	9,000	繰越商品		
	120,000	売買目的有価証券		
		支払手形	126,000	
		買掛金	81,000	
		借入金	34,400	
		貸倒引当金	3,200	
		資本金	300,000	
		売上		
		仕入		
		給料		
		雑費		
		支払利息		
		有価証券売却損		
	544,600		544,600	

受験番号

氏名

生年月日 昭・平

模擬テスト・答案用紙

2 級

商業簿記

採点欄	
三問	

(制限時間 全問で2時間)

第3問 (20点)

精 算 表

(単位：円)

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	562,000							
当座預金	1,266,400							
受取手形	216,000							
売掛金	1,300,000							
売買目的有価証券	148,800							
繰越商品	480,000							
建物	600,000							
備品	400,000							
社債発行費	4,000							
支払手形		108,000						
買掛金		404,000						
社債		1,472,000						
貸倒引当金		24,000						
建物減価償却累計額		90,000						
備品減価償却累計額		50,000						
資本金		1,600,000						
利益準備金		100,000						
別途積立金		160,000						
繰越利益剰余金		203,000						
売上		6,582,000						
受取手数料		18,200						
受取配当金		32,000						
仕入	4,920,000							
給料	620,000							
保険料	36,000							
支払家賃	176,000							
水道光熱費	84,000							
社債利息	30,000							
	10,843,200	10,843,200						
棚卸減耗損								
商品評価損								
貸倒引当金()								
有価証券評価()								
減価償却費								
社債発行費()								
() 保険料								
() 家賃								
当期純()								

受験番号

氏名

生年月日 昭・平

模擬テスト・答案用紙

2 級

工業簿記

採点欄	
四問	
五問	

(制限時間 全問で2時間)

第4問 (20点)

製造原価報告書

(単位：円)

I 直接材料費

期首素材棚卸高	<input type="text"/>	
当期素材仕入高	<input type="text"/>	
合 計	<input type="text"/>	
期末素材棚卸高	<input type="text"/>	<input type="text"/>

II 直接労務費.....

III 製造間接費

間 接 材 料 費	<input type="text"/>	
間 接 労 務 費	<input type="text"/>	
間 接 経 費	<input type="text"/>	
合 計	<input type="text"/>	
製造間接費配賦差異	()	<input type="text"/>

当期総製造費用

期首仕掛品原価

合 計

期末仕掛品原価

当期製品製造原価

(注) 製造間接費配賦差異は、加算するなら「+」、控除するなら「-」の符号を金額の前の () 内に記入すること。

第5問 (20点)

設問1	総 差 異 =	円()
	価 格 差 異 =	円()
	数 量 差 異 =	円()
設問2	総 差 異 =	円()
	予 算 差 異 =	円()
	操 業 度 差 異 =	円()
	能 率 差 異 =	円()

(注) () には、借方差異(不利差異)の場合には「借」、貸方差異(有利差異)の場合には「貸」を記入すること。